

令和2年度

事業報告書

松波の里

目 次

1. 寄 附	1
2. 施設入所支援	2
2-1 利用者の状況	2
2-2 利用者の動向	4
2-3 利用実績	4
3. 生活介護	4
3-1 通所利用者の状況	4
3-2 利用実績	5
3-3 日中活動	5
3-4 保健衛生	6
3-5 行 事	8
3-6 外 出	9
3-7 自治会活動	10
4. 短期入所・日中一時支援	11
4-1 利用者の状況	11
4-2 利用実績	13
5. 給 食	13
6. 防災・防犯	16
6-1 災害防護訓練	16
6-2 防犯対策	16
7. 職員の配置状況	17
8. 職員研修	17
9. ボランティアの受け入れ	19
10. 視察・研修・慰問の受け入れ	19
11. 実習の受け入れ	19
12. 保護者会活動	19
13. 相談支援	19
14. 苦情相談	19
15. 事業計画等に対する評価	20

平成2年度 事業報告

開設39年目を迎えた松波の里は、利用者主体の支援を念頭に、運営方針である「利用者の笑顔の絶えることのない、明るい施設」を根幹に各事業を行った。

施設入所支援では、令和2年度末で44名のご利用をいただいている。障害支援区分5及び6の利用者が43名、65歳以上の利用者が13名となった。障害の重度化、高齢化が顕著になっており、多様な支援が求められている。施設の老朽化や職員数の減少により、利用者の安全で快適な暮らしを支えるため、支援方法や環境調整等の工夫や改善が必要になってきている。

高齢化により身体機能が低下した利用者については、ご本人やご家族の意向を確認しながら、介護保険への移行がスムーズに行われるように相談支援専門員と連携していく。10月には1名の利用者が生活介護基準該当サービスを利用して外部事業所の新規利用を開始した。11月には1名の女性利用者が特別養護老人ホームへ移行している。

また、昨年度より流行した新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底することで、利用者の安定した健康状態を保つことができ、入院者や静養者の減少につながった。

以下、令和2年度の事業を報告する。

1. 寄 附

①寄附金

年 月 日	寄 附 者	金 額
R2. 7. 14	藤井 正春 様	50,000円
R2. 12. 22	株式会社 マルイ (代表取締役社長 清水 辰雄 様)	100,000円
計	2件	150,000円

②寄附物品

年 月 日	寄 附 者	金 額
R3. 2. 15	柏崎信用金庫 (空気清浄機 1台)	92,950円
計	1件	92,950円

2. 施設入所支援

定員50名のところ、令和2年度は11月に女性利用者が1名退所し、令和2年度末で44名のご利用をいただいている。

利用者状況は、65歳以上の利用者が13名である。年齢と共に心身機能の低下した利用者も増え、誤嚥、転倒等のリスクも高まり、支援態勢の見直しやリスクマネジメント会議等を通し、個々の利用者に応じた支援と食事形態等の見直しを随時図った。コロナ禍にあって感染防止対策の徹底を図りながら、業務内容の見直し、3密を回避した活動方法に配慮しながらの1年であった。介護保険の要介護認定を受けている方は7名、そのうち特別養護老人ホーム待機者は5名である。

2-1 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

① 出身市町村別人数 入所

市町村	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	上越市	新潟市	計(名)
男性	21	1		1	2	25
女性	16	1	1	1		19
計	37	2	1	2	2	44

② 年齢別人数および平均年齢 入所

年齢	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~	計(名)
男性		1		1	2	3	1		2	8	7	25
女性		1		1	3	1	1	1	1	4	6	19
計		2		2	5	4	2	1	3	12	13	44
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	73歳 11か月			22歳 2か月			56歳 3か月			55歳 6か月		
女性	72歳 11か月			24歳 3か月			54歳 8か月					

③ 障害支援区分別人数

区分	4	5	6	計(名)
男性	1	11	13	25
女性		3	16	19
計	1	14	29	44

④療育手帳所持者

種類	A	B	計(名)
男性	21	4	25
女性	18	1	19
計	39	5	44

⑤ 身体障害の状況(身体障害者手帳所持者)

	視覚	聴覚	言語	体幹	肢体不自由	心機能障害	計(名)
男性		2	3	2	2	1	10
女性		1	1		2		4
計		3	4	2	4	1	14

⑥ てんかんおよび精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	計(名)
男性	11	3	1	15
女性	8		1	9
計	19	3	2	24

⑦ 成年後見制度利用者数

	家族後見	第三者後見	計(名)
男性	3	5	8
女性	3	2	5
計	6	7	13

⑧ 介護保険関係

	特養等待機者	要介護区分認定者
男性	2	4
女性	3	3
計	5	7

2-2 利用者の動向

- ・令和2年11月12日 女性利用者（70歳） 1名 退所（特養しおかぜ荘 入所）
- ・令和3年 3月31日 男性利用者（59歳） 1名 退所（柏崎厚生病院 入院中）

2-3 利用実績（年間）

定員（人）	実人員（人）	年間営業日（日）	利用可能者数（人・日）	延べ利用者数（人・日）	利用率（%）	平均利用者数（人/日）	
50	44	365	18,250	15,753	86.3	43.1	
昨年度	50	45	366	18,300	16,088	87.9	43.9

3. 生活介護

通所生活介護については、2名の方が定期的なご利用を継続されている。施設入所の利用者と合わせ、46名のご利用をいただいた。令和2年度は、新たに1名の利用者が介護保険事業所の生活介護基準該当サービスの利用を10月から開始した。日中活動として他の生活介護事業所を6名が利用している。

生活介護においても感染防止対策を徹底し、利用者の体調管理を行いながら3密を避けた活動方法を検討し、実践した。

令和2年度はコロナ禍にあって予定されていた行事が中止や縮小される中で、日々の生活を安全に楽しんでいただけるよう職員で知恵を出し合い、行事の内容を工夫し、新しい生活様式の実践や利用者への啓発活動に取り組んだ。

通所生活介護の利用者においては、柏崎保健所管内で新型コロナウイルスの感染者が発生した際の法人の警戒態勢の発動に応じ、利用の自粛をお願いすることがあった。

3-1 通所利用者の状況（令和3年3月31日現在）

① 出身市町村別人数

柏崎市のみ 男性 2名

② 年齢別人数および平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計（名）
男性		1		1								2
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢					
男性	35歳 6か月			23歳 5か月			27歳 11か月					

③ 障害支援区分別人数

区分	1	2	3	4	5	6	計（名）
男性				1		1	2

④ 療育手帳所持者

種類	A	B	計(名)
男性	2		2

⑤ 身体障害の状況(身体障害者手帳所持者)

身体障害者手帳 所持者なし

⑥ てんかん及び精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	計(名)
男性	1	1		2
計	1	1		2

3-2 利用実績(年間)

定員(人)	実人員(人)	年間営業日(日)	利用可能者数(人・日)	延べ利用者数(人・日)	利用率(%)	平均利用者数(人/日)
50	45	269	13,450	11,503	85.5	42.8
昨年度	50	270	13,500	11,798	87.4	43.7

3-3 日中活動

利用者個々のニーズに合った活動を提供し、日中活動の場として、日々の生活において潤いと生きがいを感じることを目標として下記の活動内容を提示した。日中活動の際には、新型コロナウイルス等の感染防止対策を行いながら、安全に活動できるように配慮した。実施回数は少なかったが、利用者の余暇支援を取り入れながら午後の小グループ活動を実施した。

①運動班

歩行や身体を動かすことで個々の身体機能の維持と情緒の安定を図った。体育館での歩行活動は歩行速度や運動量に応じてグループ分けを行い、支援を実施した。冬期間は防寒や3密回避のため、廊下を利用しての歩行や室内でできる運動メニューを提供することができた。

②創作班

利用者の興味や適性、季節に合わせ様々な活動を提供した。作業室が密にならないようにレイアウトを工夫し、BGMを取り入れるなどして利用者が楽しんで活動できる環境作りに取り組んだ。ソフィアセンターで開催された柏崎ギャラリーや柏崎信用金庫、みにころで利用者の作品を展示することができた。

☆実習

今年度はコロナ禍の影響で松波デイサービスセンターの実習は実施できなかった。また、しおかぜ荘の実習については、実習者が高齢になり昨年度をもって実習終了となった。

☆じよんのびの日・誕生会

毎月1回、午前は「じよんのびの日」とし、職員の企画、運営によるレクリエーション、ゲーム等で利用者が楽しめる活動を提供した。午後は当該誕生月の利用者へプレゼントを渡し、おやつにケーキを食べてお祝いをした。

コロナ禍にあって、じよんのびの日の活動内容や誕生会の進行方法は3密を避けたものに変更しながら工夫して実施した。

月	活 動 内 容	月	活 動 内 容
4	こいのぼりリレー	10	宝さがしゲーム
5	借り物競争	11	玉落としゲーム
6	○×クイズ	12	男女寮対抗玉入れ合戦
7	ビーチバレー・玉入れ	1	十二支(牛)の塗り絵
8	男女寮対抗物運びレース	2	魚釣りゲーム
9	クイズ・カプセルお菓子くじ	3	割り箸落とし

3-4 保健衛生

① 検 診

年 月 日	項 目	人数(名)	内 容
R2. 6. 1~26	大腸がん検診	26	柏崎市検診
6. 26	前立腺がん検診	11	柏崎市検診
5. 28	子宮頸がん検診	6	柏崎市集団検診 (健康管理センター)
	乳がん検診	5	
7. 2	乳がん検診	2	柏崎市時間指定健診
R3. 1. 19			
7. 9	健康診断	44	労働衛生医学協会
7. 14			
10. 7	胸部レントゲン(車椅子)	44	保健衛生センター
10. 21	歯科検診	44	平田歯科医院(嘱託医往診)
11. 12	インフルエンザ予防接種	22	関病院(嘱託医往診)
	インフルエンザ予防接種	22	11月12日接種者以外は各主治医のもとで接種。

② 入院

今年度は、長期入院のケースを除いて入院者がなかった。

性別	年齢	医療機関	病名	期間
男性	59	厚生病院	脳機能障害	R元年5.24～R3年3.31 (退所)

③ 通院

昨年度に続き、通院者が減少した。新型コロナウイルスの流行に伴って感染防止対策の徹底が図られたことがその要因として大きい。

※昨年度

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(名)	
精神	男	17	11	21	13	15	13	19	16	18	14	7	18	182	303 ※304
	女	8	8	12	9	9	16	12	8	13	8	4	14	121	
内科	男	7	3	5	2	8	6	5	8	7	2	4	6	63	128 ※176
	女	6	5	3	9	6	3	9	8	3	5	3	5	65	
外科	男						1					1	1	3	15 ※35
	女	2	1	2	1		1	1	1	1		2		12	
整形	男	2	1		4		1	1	2	2			3	16	28 ※19
	女		2	5	1				1	1		1	1	12	
歯科	男	4	1	2	1				1	2	3	1	2	17	45 ※79
	女			4	4		4		1	7	1		7	28	
眼科	男														1 ※4
	女	1												1	
耳鼻科	男						1	1	2	2	1		1	8	11 ※0
	女							1	2					3	
皮膚科	男	5		2	4	2	5	3		1			2	24	43 ※45
	女			1	5	1	7	3					2	19	
その他	男	2		2	1	1	1	1	1	2		1	2	14	31 ※30
	女		1	1		2	2	1	2	2	2	1	3	17	
合計	男	37	16	32	25	26	28	30	30	34	20	14	35	327	605 ※692
	女	17	17	28	29	18	33	27	23	27	16	11	32	278	

☆内科には神経内科が含まれる。 ☆外科には脳神経外科が含まれる。

☆その他には小児科、婦人科、泌尿器科、リハビリ科、放射線科が含まれる。

☆救急外来は次の受診の科に含まれる。

3-5 行事

施設での生活に潤いと安らぎを与え、季節感が持てるように行事を計画した。新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、日帰り旅行は中止し、施設内で「お楽しみイベント」と称した行事を企画した。利用者全員を対象にテイクアウトの昼食や小グループでの入浴、ドライブ等を楽しんだ。松波の里まつりは、保護者や外部の方の来園は見合わせ、利用者参加型の内容で構成し、利用者の皆さんから好評を得ることができた。

☆園内行事

月	日	曜日	行事	内容
4	24	金	ピクニック①	ドライブ、松波の里ミニ売店 利用者 15名 職員 6名
5	12	火	ピクニック②	ドライブ、松波の里ミニ売店 利用者 14名 職員 5名
	19	火	ピクニック③	ドライブ、松波の里ミニ売店 利用者 14名 職員 5名
6	30	火	お楽しみイベント①	AM：入浴剤を使用した入浴 昼食：テイクアウト（とみ家） PM：ドライブ、おやつ 利用者 8名 職員 4名
7	10	金	夏まつり	AM：射的、くじ引き、水風船釣り 屋台（わたあめ、ジュース） 松波の里版えんま様への参拝 昼食：バイキング形式 PM：体育館でお神輿担ぎ 利用者 41名 職員 14名
	21	火	お楽しみイベント②	AM：入浴剤を使用した入浴 昼食：テイクアウト（銭形） PM：ドライブ、おやつ 利用者 8名 職員 4名
8	7	金	お楽しみイベント③	AM：入浴剤を使用した入浴 昼食：テイクアウト（コンフィーネ） PM：花火、ドライブ、おやつ 利用者 9名 職員 6名
	27	木	お楽しみイベント④	AM：プラネタリウム鑑賞、風鈴作り 昼食：テイクアウト（とみ家） PM：ドライブ、おやつ 利用者 8名 職員 4名
9	29	火	お楽しみイベント⑤	AM：入浴剤を使用した入浴 昼食：テイクアウト（久治） PM：ドライブ、おやつ 利用者 8名 職員 5名

10	16	金	松波の里まつり	AM:カラオケ大会、写真撮影 昼食:希望メニュー PM:マジックショー、抽選会 利用者 41名 職員11名
12	25	金	クリスマス忘年会	レクリエーション、プレゼント、写真撮影 おやつ:ケーキ、シャンメリー
1	15	金	新年会	AM:獅子舞と一緒に記念撮影 昼食:節分メニュー おやつ:紅白まんじゅう
2	3	水	節分	豆まき 昼食:節分メニュー おやつ:ぜんざい
3	3	水	ひなまつり	AM:ひな釣りゲーム、写真撮影 昼食:ひなまつりメニュー おやつ:桜もち、甘酒

☆地域交流及び招待行事

今年度は実施なし

3-6 外出

今年度は新型コロナウイルスの流行もあり、外出の実施回数は減少している。感染症対策に伴い、従来のような外出が思うように出来ない状況であったため、今年度は外出に替わるメニューとして「希望おやつの日」を設定した。

① 希望外出

利用者/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数		4	11	4	4	3	4	3	2	1			36
人数		8	20	9	9	6	9	6	4	2			73

② 希望おやつの日

職員が利用者の希望するおやつを購入し、「希望おやつの日」として提供することを積極的に心がけ、利用者の楽しみを確保した。

利用者/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	13	11	21	10	14	13	10	17	26	13	18	18	184
人数	17	29	54	51	82	77	47	43	47	12	54	37	550

③ 自由外出

近隣の自動販売機まででかけ、ジュースを購入した。

月	6	計
回数	1	1
人数	3	3

④ グループ外出

実施なし

⑤ 昼付き外出・喫茶外出

利用者の希望に応じた食事等をテイクアウトし、園内で飲食するスタイルで実施した。

月	6	7	3	計
回数	5	4	1	10
人数	13	8	1	22

3-7 自治会活動

話し合いの場を毎月1回提供し、支援課職員が参加した。食事の希望調査や毎月の行事予定等、利用者の興味、関心の高い内容について、要望を聴取し、周知するように努めた。今年度は地域のクリーンデーや3施設合同での清掃活動が中止になったため、自治会役員を中心に地域の清掃活動を5月と9月に実施した。

今年度は新型コロナウイルスについての情報提供や感染防止のための新しい生活様式への取り組み等への協力依頼を自治会にて積極的に利用者へ発信することに努めた。

① 組織

利用者の代表によって運営される自治会役員会の組織は、次のとおりである。今年度は役員の見直し機会を設け、来年度は清掃係と週番を廃止し、新たに環境係の創設に至った。

役員	人数	役割
会長	1名	利用者を代表する。 役員会の準備および司会進行を行う。
副会長	2名	会長を補佐する。 誕生会において、進行を担当する。 利用者と職員の誕生日を発表する。

清掃係	2名	月初めと大掃除の日に、清掃分担区域を発表する。 台布巾やおしぼり等の洗濯や補充を行う。
週番係	2名	朝・昼とデイルームのカーテンを開閉する。 月曜日の全体朝会の司会進行等を行う。
食事係	2名	各週の配膳当番と週番を発表する。 台布巾やおしぼり等の洗濯や補充を行う。

② ボランティア活動

自治会の役員を中心に、地域の清掃活動に取り組んだ。

年 月 日	内 容	利用者	職 員
R2. 5. 28	松波の里～荒浜小学校周辺のゴミ拾い	3	1
9. 29	松波の里～荒浜小学校周辺のゴミ拾い	3	1

③ 選挙への投票

朝会を利用して選挙の告示の周知に努め、利用者の自発的な投票を支援した。

・ 柏崎市長選 令和2年11月15日（日）利用者 6名 職員1名同行

4. 短期入所・日中一時支援

利用者やご家族の状況に応じて、受け入れを行った。新型コロナウイルスの警戒態勢時は利用を控えていただいたり、日程調整を行った。今年度はご家族の都合により緊急的な短期入所の利用が1ケースあった。また、柏崎刈羽自立支援協議会と連携し、地域で暮らす方の緊急時受け入れ施設として機能できるように事業を開始していく。

4-1 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

① 出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	計（名）
男性	3		3
女性	1	1	2
計	4	1	5

② 年齢別人数及び平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計(名)
男性				2	1							3
女性				1	1							2
計				3	2							5
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	35歳 5か月			32歳 6か月			33歳 9か月			34歳 2か月		
女性	37歳 7か月			31歳 11か月			34歳 6か月					

③ 障害支援区分別人数

区分	1	2	3	4	5	6	計(名)
男性				1	1	1	3
女性			1		1		2
計			1	1	2	1	5

④ 療育手帳所持者

種類	A	B	計(名)
男性	3		3
女性	1	1	2
計	4	1	5

⑤ てんかん及び精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	計(名)
男性	1	1		2
女性		1		1
計	1	2		3

4-2 利用実績（年間）

① 短期入所

定員（人）	実人員（人）	年間営業日（日）	利用可能者数（人・日）	延べ利用者数（人・日）	利用率（%）	平均利用者数（人/日）	
2	4	365	730	119	16.3	0.3	
昨年度	2	5	366	732	234	31.9	0.6

② 日中一時支援

定員（人）	実人員（人）	年間営業日（日）	利用可能者数（人・日）	延べ利用者数（人・日）	利用率（%）	平均利用者数（人/日）	
2	1	365	730	16	2.1	0.04	
昨年度	2	2	366	732	31	4.2	0.08

5. 給食

支援課を中心に食事メニューと食材費の見直しを行った。その結果、旬の食材を使用した食事メニューの提供が可能となり、食事の質の向上につながった。また、管理栄養士と連携し、健康診断結果をもとに食事量の調整が必要な利用者への変更を実施した。

① 給与栄養素

栄養素（単位）	エネルギー（kcal）	タンパク質（g）	脂肪（g）	炭水化物（g）		カルシウム（mg）
					食物繊維（g）	
数値	1,892	71.9	48.2	285.4	18.4	652
栄養素（単位）	鉄（mg）	ビタミンA（μg）	ビタミンB1（mg）	ビタミンB2（mg）	ビタミンC（mg）	食塩（g）
数値	10.3	593	1.07	1.09	115	9.3

② 食品構成 (単位: g)

食品	穀類		いも及び でんぷん類	砂糖及び 甘味類	豆類	種実類	野菜類	
	米類	小麦類 (その他)					緑黄色野菜	その他野菜
数値	201.3	77.8	37.5	3.6	35.5	1.5	130.5	220.2
食品	果実類	きのこ類	藻類	魚介類	肉類	卵類	乳類	油脂類
数値	122.6	20.8	4.3	70.1	79.1	28.9	178.6	8.9
食品	菓子類	嗜好飲料類	調味料及び 香辛料類	調理加工 食品類				
数値	26.2	99.6	428.2	6.4				

※日本食品標準成分表2015年版(七訂) 登載に準ずる。

③ 食事時間と形態

食事	時間	形態
朝食	8:00	1週間のうち4回パン食・3回米飯
昼食	12:00	1週間のうち、6回米飯・1回麺類 行事食
おやつ	15:00	お菓子・お茶、パックジュース
夕食	18:00	米飯
夜のお茶	20:00	温かい麦茶

④ 特別食・病態食

食種	人数	食種	人数
ミキサー食	1	一口大カット食	8
きざみとろみ食	5	低ナトリウム血症対応増塩 きざみとろみ食	1
全粥きざみとろみ食	2	高血圧症対応減塩 ミキサー食	1
低ナトリウム血症対応増塩 ミキサー食	1	糖尿病対応 エネルギー制限減塩食	1

⑤ 行事食

月	行 事	献 立
4	誕生会	卵とじカツ丼、具だくさん汁、切干大根のサラダ、いちご
5	誕生会	チキンドリア、コンソメスープ、ハムサラダ、マスカットゼリー
6	誕生会	ロコモコ丼、野菜スープ、ツナサラダ、チョコババロア
7	夏まつり	【バイキング形式】 オムそば風、アメリカンドック、フライドポテト、枝豆、スイカ
	土用の丑の日	鰻の混ぜご飯、すまし汁、揚げ出し豆腐、コーヒーゼリー
	誕生会	タコライス風ご飯、ジュリアンスープ、ブロッコリーのサラダ、マンゴープリン
8	誕生会	オムライス、コーンポタージュ、中華風サラダ、桃
9	誕生会	クロワッサン、肉団子とキャベツのシチュー、シーフードサラダ、コーヒーゼリー
10	松波の里まつり	【選択メニュー】 きのこごはん、豚汁、天ぷら、もやしの梅肉和え、プリンパフェ
	誕生会	チキンドリア、ポトフ、コールスローサラダ、コーヒーゼリー
	ハロウィン	クロワッサン、ハロウィンシチュー、コロコロサラダ、りんご
11	誕生会	ピザトースト、野菜たっぷりポトフ、シーザーサラダ、コーヒーゼリー
12	誕生会	卵とじカツ丼、具だくさん汁、カブと水菜の和え物、コーヒーゼリー
	クリスマス 忘年会	サンタパン、コンソメスープ、チーズハンバーグ、クリスマスポテトサラダ、いちごババロア
1	七草	七草菜飯、豚汁、鯖の西京焼き、厚揚げとぜんまいの煮物、ピーチゼリー
	新年会	海鮮ちらし、お雑煮、れんこんのはさみ揚げ、紅白なます、抹茶ケーキ
	誕生会	クロワッサン、豆と野菜のスープ、エビフライ、ポテトサラダ、コーヒーゼリー
2	節分	恵方巻、海老しんじょうのすまし汁、菜の花とあさりのからし和え、五目豆、杏仁豆腐
	誕生会	ピザトースト、野菜たっぷりポトフ、シーフードサラダ、コーヒーゼリー
3	ひなまつり	海鮮ちらし、すまし汁、茶わん蒸し、春菊としめじのくるみ和え、白玉フルーツあんみつ
	誕生会	チキンドリア、コーンポタージュ、ブロッコリーのカレー炒め、いちご

6. 防災・防犯

6-1 災害防護訓練

訓練形態	回数
消防署員立ち合いによる夜間を想定した総合防災訓練（消火訓練）	1
火災時の避難訓練（・日中活動体制下2回 ・休日体制下1回 ・作業時間中1回） ◎消防署への通知1回含む ※	4
夜間を想定した火災時の避難訓練	2
早朝時を想定した火災時の避難訓練	1
地震時における避難訓練（日中活動中、家族緊急連絡・職員緊急連絡網訓練1回含む） ◎その後火災発生を想定 消火訓練を行う	2
水害想定における避難訓練（日中活動中） ◎その後消火訓練を行う	1
近隣施設「松風の里」との連携による火災時の避難・救助訓練	1
原子力災害時の避難訓練（緊急持ち出し品の搬出及び公用車への積載訓練）	1
計	13

※担架の使用方法の確認と救助訓練を避難訓練終了後に3回実施した。

6-2 防犯対策

- ・正面玄関センサーライト、ダミー防犯用カメラを設置した。

7. 職員の配置状況（令和3年3月31日現在）

職 種	員 数	区 分				備 考
		常 勤		非 常 勤		
		専従	兼務	専従	兼務	
園 長	1	1				
サービス管理責任者	1	1				
支 援 員	17	14		3		社会福祉士1名、介護福祉士1名
医 師（嘱託医）	2				2	精神科・歯科
看 護 師	2		1	1		正看護師
栄 養 士	1	1				管理栄養士
事 務 員	3	1	1	1		

<職員動向>

- ・令和2年 4月 1日付で、支援員1名が松風の里から異動
- ・令和2年 6月 1日付で、パート支援員1名が臨時支援員へ
- ・令和2年 9月16日付で、パート支援員1名を採用
- ・令和2年10月16日付で、パート看護師1名を採用
- ・令和2年11月 1日付で、臨時支援員1名を採用
- ・令和2年 6月30日付で、支援員1名が退職
- ・令和2年10月31日付で、パート清掃員1名が退職
- ・令和2年12月31日付で、支援員1名が退職
- ・令和3年 1月31日付で、臨時支援員1名が退職
- ・令和3年 3月31日付で、栄養士1名が退職

8. 職員研修

1. 内部研修

① 法人研修（合同）

今年度は実施せず

② 法人内事業所研修

年 月 日	場 所	講 師	内 容
R3. 3. 2	松風の里	山川歯科医院 歯科医師 山川 尚人 様 歯科衛生士 船岡 陽子 様	口腔ケア研修

③ 施設研修

年 月	内 容
R2. 10, 11, R3. 1, 3月	施設外研修報告及び意見交換、N95 マスクの使用方法について

2. 外部研修

① 外部研修

年 月 日	内 容	参加者
R2. 9. 8	県域別研修会 自閉症スペクトラム障害の理解と対応 ＜長岡地域振興局大会議室＞	1
10. 6	新潟県 サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修 ＜柏崎市産業文化会館＞	1
12. 9 12. 21	新潟県社会福祉協議会 新人・後輩職員の育成・指導研修～エルダー制度の活用～ ＜オンライン研修＞	1
12. 25	新潟県知的障害者福祉協会 正しく理解し正しく実践！～現場でいかせる COVID-19 対応～ ＜オンライン研修＞	1
12. 30	新潟県社会福祉協議会 接遇研修【リーダーコース】 リーダーの役割と問題解決の方法 ～職員の意識改革と組織開発を考える～ ＜オンライン研修＞	1
R3. 1. 3 1. 5	新潟県社会福祉協議会 社会福祉職員スタートアップ研修 ＜オンライン研修＞	3
1. 18	国立のぞみの園セミナー 障害がある人の健康診断 ＜オンライン研修＞	1
3. 2 3. 4	国立のぞみの園セミナー 認知症を発症した知的障害者への支援について考える ＜オンライン研修＞	2
計		11回 11名

② 柏崎刈羽地域自立支援協議会、新潟県知的障害者福祉協会等への職員派遣

年 月	内 容	派遣職員
R2. 10～R2. 12	自立支援協議会：緊急受入れに伴う課題検討プロジェクト (3回)	1

9. ボランティアの受け入れ

名 称	回 数	人 数	内 容
刈羽村ボランティア友の会	1	6	雑巾縫い
柏崎刈羽美容組合	1	5	ヘアカット
計	2	11	

10. 視察・研修・慰問の受け入れ

受け入れなし

11. 実習の受け入れ

期 間	日 数	学校・学年・性別	種 類	人 数
R2 12.14~12.25	10日間	国際こども・福祉カレッジ こども福祉教育学科 2年(女性)	保育実習I (施設)	1
R3 3.1~3.16	12日間	日本こども福祉専門学校 こども保育学科 1年(女性)	保育実習I (施設)	1
計			2件	2名

12. 保護者会活動

施設運営に協力するため、9名の役員が、以下の活動を行った。なお、研修や行事への協力、環境整備、兄弟姉妹の活動については、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。「ふれあいの日」は今年度より廃止とした。

活 動	役員数	内 容
広 報	1	年2回の広報「まつなみ」の発行 (5月・8月)

13. 相談支援

令和2年7月に相談支援事業を元気館障害者デイサービスセンターへ移行した。

月	4	5	6	計(名)
計画相談	1		1	2
モニタリング		8	14	22

14. 苦情相談

令和2年度に受け付けた苦情はなかった。

15. 事業計画等に対する評価

①利用者支援の取り組みについて

- ・個別支援計画に沿った支援を実践したが、利用者のニーズが高い外出については計画通りの実施が困難であった。今年度はご希望に応じたおやつ購入機会を多く取り入れ、昨年度より継続している「パンの日」の実施回数を増やすなど日々の楽しみを大切にしながら支援にあたった。
- ・コロナ禍にあってこそその取り組みとして、支援課職員で日々の暮らしを丁寧に送ることを心がけた。利用者支援においては、権利擁護やQOL向上に重点を置き、支援課職員で意識して取り組む月間目標を設定した。毎月のケア会議で月間目標について日々の支援の振り返りや情報の共有を図ることができた。
- ・利用者の身体機能の衰えもあり、環境面での整備を行いながら住み慣れた松波の里で安全に暮らしていただけるよう配慮した。転倒やそれに伴う怪我のリスクが高い利用者の支援については、毎月実施のリスク会議で支援方法を検討し事故を未然に防止できるよう努めた。
- ・今年度は誤嚥性肺炎での入院者がいなかった。日々の安全な食事支援や口腔ケアが実を結んだと評価したい。
- ・高齢者と強度行動障害を持つ利用者が共に生活していることもあり、安心・安全な暮らしのために今後もより一層の個別支援が必要とされる。その実現のために職員数の確保や人材育成が課題となっている。職員間で統一した支援が必要なケースにおいては、個々の利用者の障害特性を把握し、日々の支援に有効的なツールとして支援手順書を活用できるように内容の精度を図る必要がある。
- ・利用者に情報をわかりやすく提示するため、視覚的アプローチを意識して支援に取り入れた。

②感染症予防対策への取り組みについて

- ・新型コロナウイルス感染症の流行もあり、感染症予防対策として利用者の体調把握や3密回避など新しい生活様式への転換を開始した年度となった。感染防止の観点から、中止や規模の縮小を余儀なくされた年中行事については、それぞれ代替メニューのイベントを企画し、利用者の皆さんに安心して行事を楽しんでもらうことができた。
- ・帰省については、保護者の協力と理解を仰ぎながら可能な範囲での帰省を実施した。警戒態勢中で帰省が叶わなかった期間は、定期的に利用者の様子を知らせする文書を発行し、保護者の不安が軽減できるように配慮した。
- ・外部事業所の利用や短期入所、通所生活介護等の受け入れについても慎重に行い、感染を持ち込まない対応に努めた。
- ・感染症予防対策が功を奏し、今年度は風邪等の罹患者も少なく冬期間も利用者が元気に過ごすことができた。衛生用品や感染防止に必要な物品の購入も計画的に実施した。

③職員研修について

- ・職員の質の向上として例年であれば参加できていた集合研修の多くが中止となった年度であったが、オンライン研修を導入し、安全に自己研鑽を積む機会を得ることができた。